

三十七年ぶりの再会 "涙" 疎開者十人が木場を訪問

「あなたもちっとも変わっていないね」「生きてよかった」と手をにぎり合い、肩を抱き合う。涙にむせんだ三十七年ぶりの再会。十月十八日(日)、木場満行寺。

昭和十九年八月、戦争が激化。東京都深川区(現江東区)の川南国民学校の児童八十九人が、木場小学校に疎開して来ました。寝食は満行寺。勉学は木場小。ともに学び遊んだ日々。

そして三十七年。当時の五年生が、数え年五十歳を記念して同窓会を計画しました。ところが、東京の「同窓生」も戦死した友人の法要を満行寺で行おうとしていたことがわかり、「それならばいいしょよ」となったのです。



よく来て下さいました。

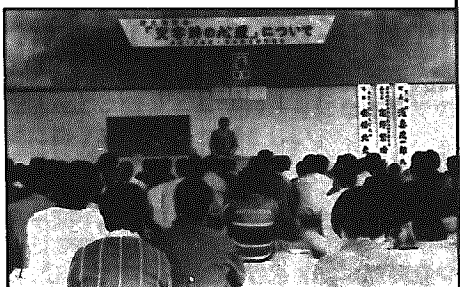
消息のわかった二十人のうち十人と、当時の校長先生と今の教頭先生が、木場では他学年からも出席し、六十三名が出席しました。「その節はお世話になりました」「いいえ、こちらこそ……」と互いあいさつ、握手をかわしていました。

懇親会でも話は尽きず、思い出が思い出さず、感動の一夜を過ごしました。

翌日は木場小で朝礼式に出席。全校児童とともに懐かしい校歌を歌いました。帰りには、「木場の郷土誌」、学校田で収穫した平和モチ、米俵が贈られました。

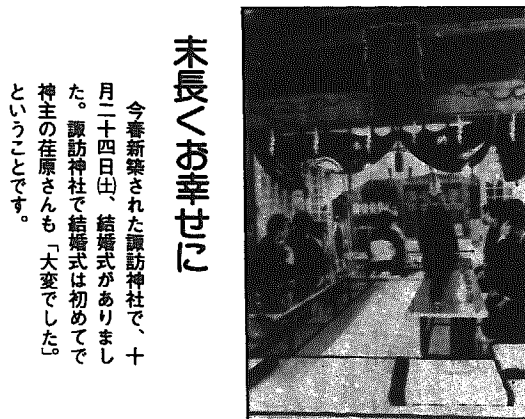
火の用心、火の用心

十月十九日(日)、武道館で防火講演がありました。講師は東京外国語大教授の安倍北夫氏。二百五十人の聴衆は熱心に聴きっていました。



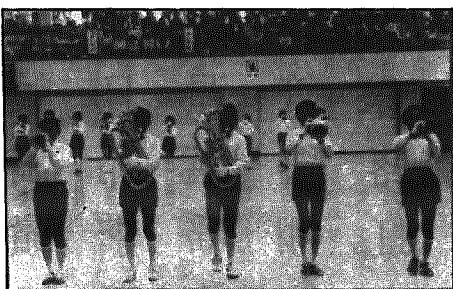
若い者には負けねえぞ

十月二十日(火)、民具同好会の今年三度目の講習会が開かれ、冬に向けて本格的な活動を始めました。



未長くお幸せに

今春新築された諏訪神社で、十月二十四日(日)、結婚式がありました。諏訪神社で結婚式は初めてで、神主の荻原さんも「大変でした」ということです。



音楽つていいなあ

十月二十日(火)、総合体育館で町内小中学校親善交歓音楽祭が行われました。各小学校の日ごろの練習の成果が発揮され、特にバトン隊のすばらしい演技に場内は熱まりました。

十月臨時議会

ガス供給条例の改正など 三議案を可決

十月三十一日、臨時町議会が開かれ、黒崎町ガス供給条例の一部改正案など、三議案が上程。いずれも原案どおり可決しました。要旨は次のとおりです。

一、原料ガス購入単価の値上げなどによる、諸経費の上昇に対処すると共に、ガスの安定供給と保安の確保に対する施設等の整備を図るために、ガス料金の改定を行うものです。

また、料金改定に伴い、需要家の負担の軽減を図るために、本支管工事費の本町負担額も、改定するものです。

一、五十六年度一般会計補正予算(第四回)

●産業育成資金貸付金など、二千七百七十三千円を補正し、歳入歳出の総額を三十二億八千八百五十四千円に。

一、水道事業会計補正予算(第二回)
●大野地区の配水管施設工事費一千五百万円を追加し資本的支出の総額を三億一千二百五十六万三千円に

使用量区分別の比較

使用量区分	現行料金	改定料金	改訂率
最初の5㎡ まで	550円	700円	27.3%
5㎡を超え 50㎡まで	1㎡当たり 57円36銭	1㎡当たり 76円99銭	34.2%
50㎡を超え 250㎡まで	56円39銭	76円03銭	34.8%
250㎡を 超えるもの	55円42銭	75円07銭	35.5%

この表は通産局に申請した金額で、この通り実施されるものとは限りません。



私の視点

町長 浅妻浩一郎

前回は、本町の菊と盆栽づくりの優れた技術が国境を越えて、日中友好親善の任を果させて頂いた感謝をこめて、所感を述べて頂きました。

今号は、その感想の一端を託してみたいと存じます。私も生まれて初めての訪中であり、一面興味を持ち、反面その重責を全うできるか心配でしたが、幸い議員数名、農協組合長、元議会議員長さん始め、現・元議長、亀倉蒲舟先生、菊花、盆裁会の審査員、各種団体の長な

ど、有力メンバーの皆さんの同行で、心強く大舟に乗ったつもりで訪中することができました。

予定通り、九月二十二日午前八時黒崎農協事務所前を出発。新潟空港十時五分大阪へ、大阪へは予定より十分早く到着。同空港で国外渡航の指導並びに検査を受け、十五時四十分上海に向け出発。十七時十分予定通り、全員無事到着と同時に十八時十分時間の修正が行われました。これは日本と一時間の時差があるということですが、これからの行動は、すべてこの

時間に合せたこと。ちょっと戸惑いを感じました。

上海に降り立つてみると、日本とそう変わりはなく、いずこも同じ秋の夕暮れという感じの中で、中国旅行社上海分社副經理、沈天麟さんと女性通訳、王蘭さん、二人の方々からの出迎えを頂き、大型バス(日本製)に乗車。

車中、歓迎のあいさつを頂き、答礼のあいさつをし、今晚の宿泊所である「衡山飯店」に向う道中徐々に暗くなってきました。(続きは次回に掲載します)

農村総合整備モデル事業

木場農道の一部が完成

昨年からの、農村総合整備モデル事業として始めてきた、木場農道六七号線の改良舗装工事の一部が完成しました。

農村部の環境整備を目的に、始めてきたこの事業は、初年度(木場下真の農道)五二メートルを改良。本年度は四〇メートルの舗装工事を完了しました。道路西側には歩道を設け、さらに一五メートル間隔に「イチヨウ」の木を植え、今までにない道路に変わりました。

また、家庭排水路の整備も同時に行われ、環境が良くなった」と附近の住民から喜ばれています。



総工事費は、三千二百五十万五千円となっています。